

八郷広報

発行所 八郷町役場

茨城県新治郡八郷町大字柿岡2009
電話(柿岡)4・104・114・149番

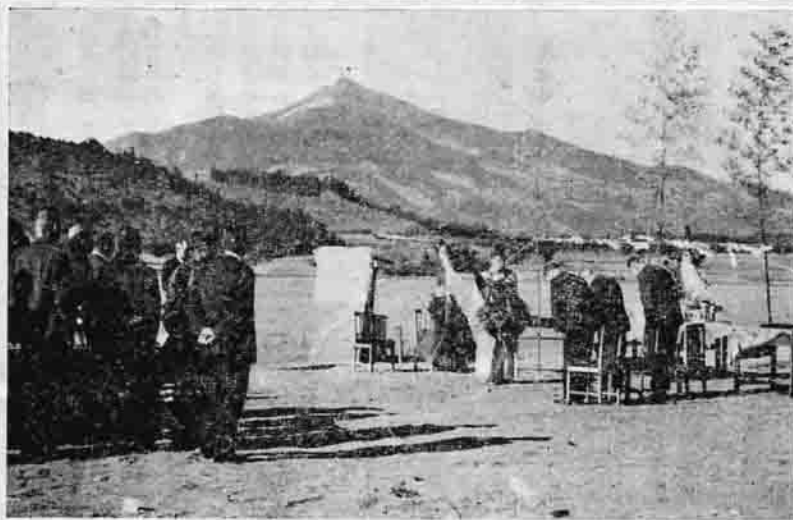
印刷所 飯島印刷所
石岡市守木町

賀正 一九六三年

南中学校舎の建築工事

鉄筋 二千三百万円を着工

昭和三十七年第四回臨時町の建築工事請負契約の締結に
議事が十二月二十一日役場議
場で行われ、南中学校校舎
これは、鉄筋コンクリート



南中学校建築地鎮祭

三階建の校舎一棟九百八平方
メートルが指名競争入札の結果、
常陸太田市武藤建設株式
式会社が二千三百万円で落札
したものである。
この建築工事の九百八平方
メートルには、教室が十室五
百九十九平方メートルをはじ

議長 桜井浩蔵
副議長 滑川好道
両氏きまる

町議会才四回定例会

昭和三十七年の町議会第四
回定例会が十二月二十八日役
場で行われ、七つの議案を
原案可決しました。
主なものは次のとおりです。

助産費・葬祭費は
二千円を支給

条例改正
国保一部

○町国民健康保険条例の一部
を改正する条例は、いままで
被保険者が出生したとき、そ
の世帯主に助産費として一千
五百円が支給されていましたが、
二千円に引き上げられました。
また、被保険者が死亡した
ときの葬祭費は一千五百円を
二千円に、生後一カ月未満で
死亡した場合の七百五十円が
一千円にそれぞれ引き上げら
れました。

○八郷町防犯会議条例が新し
く制定されました。
これは、災害対策基本法に
もとづいてつくられたもので
町の地域防犯計画を作成して
その実施推進や災害に関する
情報をあつめたりする事務を
つかさどるものです。

防災会議条例を制定

町長 関野信平



年頭の
ごあいさつ

皆さん、明けましておめ
でとございます。
輝かしい一九六三年の新
春を迎え、町の皆さんがま
すます健康であり、また
八郷町がいよいよ発展した
すばらしい年でありまう心
から祈念
いたし、
紙上を通
じ、謹ん
で年頭の
御挨拶を
申し上げます。

顧みると昭和三十四年私
が町長に就任以来、町民の
皆さんの絶大なる御協力に
よりまして、町発展のため
の各種事業、すなわち東筑
波ならびに朝日、一本杉林
ここに町民の皆さんと共に
一杯の努力をいたす所存で
あります。
今後共町民の皆さんの絶
大なるご協力をお願い申し
上げ、併せて皆様の御健康
と御発展を祈り年頭の御挨拶
といたします。

構造改善の すすめ方

計画の想像図

牛乳の場合 (2)

酪農で自立経営農家になる
ために、乳牛の導入、畜舎の
建設等の個人事業について構
造改善事業でどんな助成が受
けられるかという点、この場
合は融資単独事業として農業
近代化資金の融資が受けられ
ることになっています。

酪農で自立経営農家になる
ために、乳牛の導入、畜舎の
建設等の個人事業について構
造改善事業でどんな助成が受
けられるかという点、この場
合は融資単独事業として農業
近代化資金の融資が受けられ
ることになっています。

酪農で自立経営農家になる
ために、乳牛の導入、畜舎の
建設等の個人事業について構
造改善事業でどんな助成が受
けられるかという点、この場
合は融資単独事業として農業
近代化資金の融資が受けられ
ることになっています。

酪農で自立経営農家になる
ために、乳牛の導入、畜舎の
建設等の個人事業について構
造改善事業でどんな助成が受
けられるかという点、この場
合は融資単独事業として農業
近代化資金の融資が受けられ
ることになっています。

国民健康保険税
第4期
31日限り

豊かな 住みよい町を

町議会議員 桜井浩蔵



皆さん、明けましておめ
でとございます。
輝かしい一九六三年の新
春を迎え、町の皆さんがま
すます健康であり、また
八郷町がいよいよ発展した
すばらしい年でありまう心
から祈念
いたし、
紙上を通
じ、謹ん
で年頭の
御挨拶を
申し上げます。

土地盤整備事業と の関連

牛乳主産地化を主軸とした
構造改善計画でも、町の総事
業費の四割は原則として土地
盤整備事業にあてようとい
うことになっています。

大増の中田さんら
消防ポンプ 郡で優勝
操法競技

十二月二日の町消防大会に
行なわれた消防ポンプ操法競
技で一位となった第二十六分
団(大増)の中田虎雄さんら
は、同十六日千代田村で行な
われた新治郡消防ポンプ操法
競技会に町代表で出場、他を
大きく引きはなして見事優勝
した。

また、もう一つの町代表チ
ームである第二十八分団(太
田)も五位に入賞した。
優勝した第二十六分団は二
月九日に水戸市で行なわれる
県の大大会に出場することにな
っています。
第二十六分団のメンバーは
次のとおりです。
中田虎雄(指揮)、広原幸
二、岩田司、岡本竹市、
森田勇、潮田尚

成人おめでとう

期待される若い世代

新たに成人となられたみなさん、おめでとうございませう。心からお喜び申しあげます。その喜びは何ものにもたえがたく、記念すべき大きなものですが、同時にこれからのみなさんの若い世代の活躍に寄せられる世人の期待もまた非常に大きなものです。その期待をうけたみなさん、みんなが、がっちりとした手で大地をふみしめ、責任と自覚をもって町づくり、国づくりに役立つときがやってきたのです。前途洋々たるみなさんのご多幸をお祈りします。

つや、渡辺仁、広瀬和子、市村とみ、高野邦子、関令治、海老沢宏端、富田勝行、潮田光子、桜井平、木崎文子、松本良子、高橋弘子、田村武俊、高橋けい、木村茂太郎、広瀬忠彦、中島洋一、中島正、寺田岩弘、神谷正道、小松崎智子、寺田みち子、雨貝良子、鈴木加津江、白田愛子、助川幸男、大塚信子、高橋栄、飯島似子、広瀬静子、富田志津江、込山洋子

土佐タツ子、宮部進、荒井孝男、永盛繁、青木香、鈴木健とよ、山田昭武、岩田佳子、大槻うめ、大槻凱、大槻紘、島田光江、大槻洋子、鈴木一男、猫崎弘子、田谷野芳子、永井久代、田口三郎、菅谷善三、石井俊二、石井保則、栗野佳代子、真家次男、千葉はつ子、大塚功、長谷川裕、長谷川新五郎、真家はま、真治、富田実、武熊次男、飯島山佳江、磯山マサ、市塚芳子、萩原昭義、開田利一、磯山三、赤沢勝、宮本俊三

吉生小で
こども会後援会発足
吉生小学校学区内のこども会後援会がこのほどつくりられました。

これは、龍田、小倉、瓜谷辻、小久保、北郷の各部落で十二月二十四日にこれら六部落のこども会後援会の連絡協議機関として全会員百三十九名の連合会が発足しました。それぞれの後援会では、さつきから冬休み期間を利用してレクリエーション大会をひらいたりして、こどもたちに喜ばれています。

各こども会後援会の会長は次のとおりです。(龍田は未定)

北郷こども会 土佐 武夫
小倉こども会 鈴木 平
瓜谷こども会 神生彦兵衛
辻こども会 上野 勇
小久保こども会 岡野 義夫
吉生小連合会 鈴木 平

昭和三十八年成人者名簿

◇柿岡
稲本海男、渡辺新一、木村幸雄、吉川貞子、小池忠、松川きく、吉田光男、佐藤静江、稲田明彦、高橋智恵子、木村和子、菊地美登里、大関次江、大沢好江、土田満里子、吉田進、飯村文子、吉田信子、藤三也子、広瀬フミ江、長谷川武子、佐藤よし子、磯山邦男、川井孝子、飯島功、小佐藤臣男、小原和子、市村ひろ子、島田きよ、来栖淑子、佐藤雅子、平喜代子、田山初江、平文江、岡崎常男、細川政一、平栄、額賀誠三、宇田川国夫、桜井瑞美子、広瀬武次、渡辺はる、横田光鶴子、綿引瑞容、谷田部さよ

子、小松崎孝一、平山隆司、鎌田てる、鯉淵まゆ子、鯉淵好子、鈴木美智子、細谷宜好、島田喜之、赤羽根信子、岡野美智子、萩原忠正、鈴木治雄、滝田宏樹、泉勝子、鈴木則子、稲田稔、小森敬子、岩崎明、菊地武通、中之谷昭雄、渡辺進、飯村文子、吉田信子、小松崎さく、鈴木久男、小松崎平一、小仁所芳夫、長谷川和、市村明男、藤田勝利、渡辺洋子、富田静江、鬼沢ちか子、三輪有一、飯田世喜子、市村三郎、底千代子、鈴木次郎、馬立武子、坂川広雄、野村進、白井政勝、足立全子、足立透、足立喜代江、阿曾尾うめ、中島京子、菊地豊、信田武子、内田絹子、永井芳子、本図昭、菊地信子、深谷隆

子、菊地久子、谷田部保雄、押久保富雄、根本文子

子、小松崎孝一、平山隆司、鎌田てる、鯉淵まゆ子、鯉淵好子、鈴木美智子、細谷宜好、島田喜之、赤羽根信子、岡野美智子、萩原忠正、鈴木治雄、滝田宏樹、泉勝子、鈴木則子、稲田稔、小森敬子、岩崎明、菊地武通、中之谷昭雄、渡辺進、飯村文子、吉田信子、小松崎さく、鈴木久男、小松崎平一、小仁所芳夫、長谷川和、市村明男、藤田勝利、渡辺洋子、富田静江、鬼沢ちか子、三輪有一、飯田世喜子、市村三郎、底千代子、鈴木次郎、馬立武子、坂川広雄、野村進、白井政勝、足立全子、足立透、足立喜代江、阿曾尾うめ、中島京子、菊地豊、信田武子、内田絹子、永井芳子、本図昭、菊地信子、深谷隆

高久のぼる、路川千代子、路川京子、須藤謙三郎、三村勝利、野村利夫、海老沢雄、飯田進、飯田みよ、三輪照子、飯田初子、大山義光、関進、飯田いつ子、飯田信之、飯塚健太郎、上野一男、岡野くに上野記至、吉田豊、鈴木美、井川清三、井川明正、鈴木ふく、鈴木福江、井川忠雄、上野臣子、三輪美代子、菅野弘吉田昭二、保科三善、大図と、柏原明、大図進、吉田し子、市村三郎、齊藤輝男、高野進、高野謙一、高野いく、藤岡英博、柘植梅子、藤岡充市村末子、渡辺達也、宇田真巳、吉田宣勝、藤岡こと、岩田まり子、潮田秀雄、岩田文

関季、佐々木操、飯島清子、潮田千代子、郡司留松、広瀬官次、岩田みち子、岩田昭、宇田榮未雄、塚田武夫、竹林博、大里京子、宇田とき子、安田政治、増田悦子、市村喜久江、石田文次郎、前沢清子、富田清次、富田礼子、友部一夫、木村志津子、入江国男、市村文江、小林浩栄、谷仲光枝、飯村六合治、藤岡七郎、井川雅美、萩原薫、吉田英義、吉田昭二、保科三善、大図と、柏原明、大図進、吉田し子、市村三郎、齊藤輝男、高野進、高野謙一、高野いく、藤岡英博、柘植梅子、藤岡充市村末子、渡辺達也、宇田真巳、吉田宣勝、藤岡こと、岩田まり子、潮田秀雄、岩田文

◇瓦会
鈴木きく、坂本和男、菅原滝子、磯山久子、中村八重子、郡司妙子、村田松江、奥村きぬ江、鈴木武夫、鈴木敏子、鈴木正子、梅沢久雄、桜井満枝、藤岡昭生、藤岡実、川田勝子、吉田隆男、小松進、岡野敏夫、平岡きみ子、石田節子、鈴木誠、杉山六郎、鈴木節雄、友部孝子、鈴木照子、小松トシ子、小松八重子、小松よし子、秋山勝男、諸里しげ子、安達光男、稲見芳子、稲見正夫、加藤江美子、小河原淑子、萩原勝利、永瀬喜美枝、永瀬忠、大塚修弘、木村勝雄、市村正直、大山芳男、比呂隆、小林栄子、久保田高市、稲田良弘、白田照子、白田三男、大場志の市、泉谷郡男、大場文子、井上和枝、林勇、真家清、杉山健、吉田清栄、横田勇、萩原武

◇園部
真家孝子、成田喜久江、飯塚かつ江、飯村テラ、島田俊枝、飯村信一、飯村すみ子、飯田和子、山田忠、山里初枝、久保田義雄、岩井茂雄、長谷川

松本慶一、大塚和子、稲田トミ子、小野瀬しげ、岡野利夫、島田弥生、君山美枝子、余賀孝、雨貝幸雄、以後崎保夫、小沢宏子、飯島静江、大関キミ子、上野千枝、菱沼秀雄、

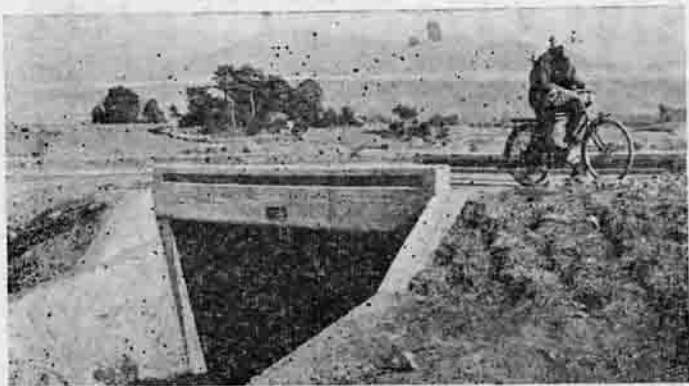
照明、鈴木殿、富田時子、小田上米子、齊藤順一、中村次男、山口正、雨貝和子、石塚俊雄、萩原寿盛、松崎けい子、上田清子、鴻巣征治、酒井よし、酒井豊、島田静江、雨貝栄、齊藤秋修

最近できた道路や橋



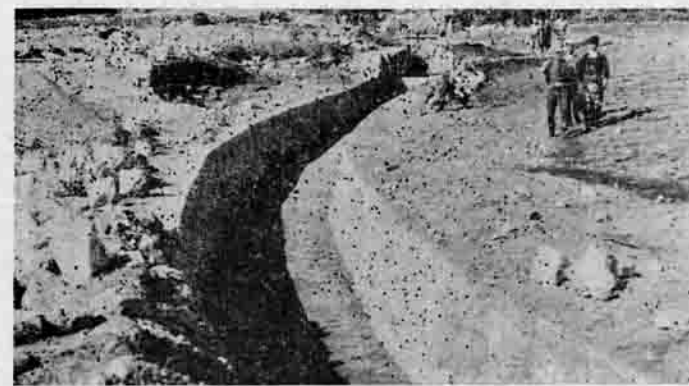
一 里・南山崎線

大字下林里地内道路改良工事、延長644メートル、巾3.6メートル
工費406,000円、施工一町直営



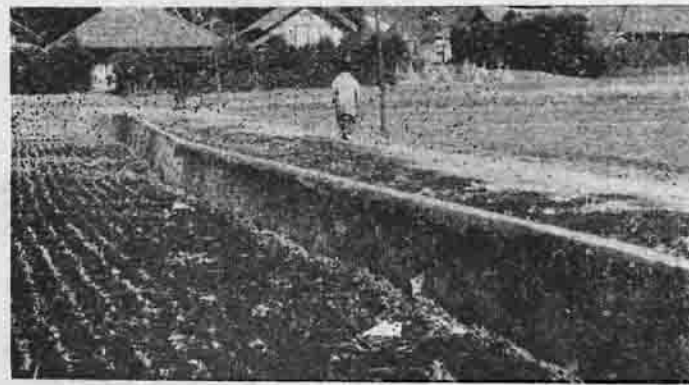
一 浄心橋

大字鯉岡地内橋梁復旧工事、工費581,000円、請負施工一常洋建設



一 精進川

大字大増地内護岸復旧工事、延長216メートル、工費2,567,000円
請負施工一塚谷建設



一 布野線

大字瓦谷布野地内道路復旧工事、延長44メートル、工費249,000円
請負施工一常洋建設



一 川又線

大字川又地内道路改良工事、延長89.9メートル、巾5.5メートル
工費695,000円、請負施工一塚谷建設

食糧費について、とかくのうわさがありますので、下表のとおり公表いたします。

昭和37年度食糧費予算内訳表 37.11.27

款 別	予 算 額	摘 要
議 会 費	150,000	議会議員30名
役 場 費	364,000	精茶代10万、来賓5万、会議10万、新設改築1万、広報5千、区有或8万4千、有放整備費1万5千
消 防 費	651,000	消防団員1,150名 本団6万、本部1万、区団13万5千 出初式15万6千、幹部訓練10万、消防団表彰伝達式9万、団員訓練10万
土 木 費	360,000	林道開設3万、災害復旧土木5万、農用施設復旧5千 単町災2万、林道復旧5千、東筑波観光道路開通式・会議・その他2万5千
教 育 費	1,053,705	中学校7校8万、小学校13校11万4千、教育委員5名5万 講師8千、成人式該当者600名5万、社会教育関係委員170名5万4千705円、公民館1・分館8・4万、公民館役職員260名 青年及婦人学級4万5千、中学校統合推進費15万、芦小園小落成31万、南中建築13万、古墳遺跡2万、視聴覚2千
社会及労働施設費	92,000	民生委員55名2万、国民年金普及推進委員会27名2万5千、保育所5千、国民年金納入組合436名1万1千 母子家庭6千、青少協2万、援護費5千 (保育所及び季節保育所の給食関係332,100円を除く)
保 健 衛 生 費	80,000	
産 業 経 済 費	740,100	農業委員35名、農業構造改善協議会委員42名、農協合併推進協議会176名 蔬菜花卉振興協議会委員43名、市乳主産地形成推進委員会26名、米穀売渡推進協議会47名、農業改良推進協議会25名、種子供給調整協議会20名、種豚貸付協議会13名、農業労働力調整協議会12名 需用費40,000 交換分合費30,000 農業振興家指導費15,000 調査研究費5,000 食糧増産費30,000 果樹振興費25,000 畜産振興費30,000 特産振興費20,000 養蚕振興費15,000 林業振興費2,000 土壤改良防除費20,000 農協活動強化費10,000 商工振興費5,000 草地造成改良事業費3,000 調査研究費80,000 移住推進費10,000 農協合併促進費220,000 土地改良費50,100 農業構造改善事業費120,000
統 計 調 査 費	85,100	統計調査員152名 農林統計3万、工業統計1,500円、商業統計500円、統計大会5万、中小企業学校教員就業構造果樹の基本調査3,100円
選 挙 費	146,828	選挙管理委員会4名1万5千、参議院議員選挙8万1千 町長選挙5万、その他828円
諸 支 出 金	23,000	監査委員2名2万、自衛官募集3千
計	3,745,733	

みんなで住みよい環境に

ことしの衛生計画をたてよう

農作業も一段落し、年末年始の行事も終ってホッと一息ついたことでしょうか。このころは屋内外ともきれいな環境に、カヤハエなどの害虫もなく、衛生作業も遅かったという感じがいたします。しかし、年改まり気分もまた一新する今こそ、これから一年の計画をたてるのによい機会といえます。

昨年めざましい成果をあげた地区も、ことし始めてこの運動を展開する地区もことしこそ、いっそう健康で明るい生活を築くため、一年間の実行計画をたてましょう。

指導機関の活用や 整備も考慮して

行計計画をたてる際には、その地区の人々の生活を基礎にした要望や意見を十分とり入れるよう、話しあいによってきめて、一部の者の強い意見も考慮して、一年間の実行計画をたてましょう。

みんなで話しあって

行計計画をたてる際には、その地区の人々の生活を基礎にした要望や意見を十分とり入れるよう、話しあいによってきめて、一部の者の強い意見も考慮して、一年間の実行計画をたてましょう。

基本計画の一例として

次に掲げてあります年間行事計画は、衛生害虫(カヤハエなど)やネズミ駆除など環境衛生改善を目標にした、地区衛生組織の基本的な計画の例ですが、実践地区では、それぞれの土地の状況や生活環境の特性を活かして、地区の人々の共通の課題を加え、具体的な行事をもちこんでいた

地区組織活動年間活動行事予定表

月	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月
実 施 目 標	地区組織活動の目標樹立 カ・ハエの発生源となる施設の改善 越冬カ・ハエの徹底駆除	越冬カ・ハエ幼虫対策 ねずみいっせい駆除	地区組織座談会の開催 殺虫剤の購入計画 三十八年度の事業計画	全国環境衛生運動春の大掃除の実施 組織活動の本格的開始	カ・ハエ最盛期の対策 つゆどきの環境衛生対策	つゆどきの環境衛生の徹底 最盛期のカ・ハエ駆除 プエ駆除
実 施 要 領	三十八年度の事業方針の協議をして事業計画を樹立する。 農閑期を利用して畜舎、ごみ箱などの破損箇所を修繕する。 産卵直前のカ・ハエの成虫駆除を実施する。	カ・ハエ発生に先立って幼虫の越冬場所である堆肥舎、ごみ箱、用水桶などの土換えや水換えをして殺虫剤を散布する。 地区全体で野ねずみ・家ねずみのいっせい駆除をする。	三十八年度事業計画にもとづき実施の準備をする。 地区の基礎調査により作業方法を決定する。	春の大掃除は地区全体が参加できるように日程をきめるとともに事前準備にも留意する。 カ・ハエの発生源処理、殺虫剤の共同散布など地区組織の活動を開始する。 地区別清掃美化コンクールなど実施	殺虫剤の定期的散布、畜舎の敷わらの定期的(五・六日に一回)交換。 雨水の流れをよくし、カハエの発生を防ぎまた汚水が井戸や床下に流れこまないようにする。	室内、寝具などの乾燥をはかる。 雨もれ、汚水の排除に留意する。 井戸の消毒を月二回以上実施する。 プエ駆除も他地区と連絡して実施する。

(文) (芸)

俳句 滝田 玉水選
小倉 植木登久子
◇年迎う◇
◇拓地より脱け新宅に年迎う◇
細谷 金沢翠柳
◇折にふれて◇
◇にくらしきほどの冬晴靴みがく◇
柿岡 舟橋洗月
◇学校園名札のみ立ち冬さる◇
◇公民館研修旅行◇
◇花水公民館婦人学級◇
◇暮れ早き思いに駆られ傍聴す◇
◇雪の富士見やれと窓を拭き呉る◇
◇一葉の落葉を追って朝茶かな◇
芦穂 中島峯鐘
◇統計大会にて◇
◇動統の表彰亨けて凍雨踏む◇
細谷 金沢翠柳
◇新年雑詠◇
◇春着の娘じゃれつく小犬もてあます◇
川又 前島夢人
◇春待つと云ふことのみにある心◇
柿岡 平 寿亭
◇亡き母の帰着し初鏡◇
半田 関 ト堂
◇心して娘の成人の日の晴着◇
林 山下よし子
◇成人の晴着みつめる母の皺◇
◇選者より◇
不肖玉水、俳句の選を担当させられていますが、われわれは「やさ」と俳句会」を、結成して会員約四十名が、俳句の道場として、切磋琢磨、精進努力を続けています。
広報へ投句される中に、無季、季重ね等があるので、俳句の常道から、はづれている

とみられる句が、時にあるのが遺憾です。
広報に花を添え、心に糧を与えている俳友! 八郷町民の三分の二は、発行に活目して期待していると思う。お互い「やさ」と俳句会」で勉強いたしましょう。

短歌 吉田 次郎選
小倉 植木登久子
◇元旦◇
◇初日うけてかがやう富士を仰ぎつづ夫と屠蘇くむ炭焼小屋に◇
◇閉みおく熟柿盗みに来る鴨よ元旦なれば追わず見ておろ◇
◇玻璃越しの雀の愛語聞き乍ら元旦を寝て夫と歌詠む◇
柿岡 舟橋洗月
◇年の瀬を独り炬燵におもねれば過ぎにし日々は悔なかりけり◇
◇かへりみてこの一年の思い出は悔ゆべき事の跡かたもなし◇
芦穂 中島峯鐘
◇渡鳥翼音さやかに群れて飛ぶ稲架の波果なく続く◇
◇この春に求めし穂田に稲を蒔る妻は豊かに汗なしていふ◇
小倉 植木登久子
◇秋畑に群なし響くエンジン音に熱し妻と畑打つ◇
◇我病めば妻は涼々しき姿して月夜の庭に稲扱きおろしつ◇
◇視野歪む程の頭痛に歯がみつ◇
◇節の「土」今日は借りむと野良着のまま、移動図書館へ息切らし馳す◇
青田 関 きのえ子
◇国のため犠牲となる遺霊を堂にまつりて民はうやまう◇
◇さのふまであまいてきたる娘子の成人式の今日の姿や御題「草原」◇
◇しらじらと朝霧こめしふる

さとの草原遠く牛の声する
「高木治三郎氏の南米行」
「グアタパラの野を拓かんと海をゆく拓士の頬に朝日かがよふ」
選者 吉田 次郎
「年頭所感」
○あらたまの年立つ今日のいかしや天に向いて願うことども
○大いなる命を念うわが額にさやけき朝の風わたるなり
俚語 林 嶺月選
柿岡 寿無限生
「新春戯詠」
送る寅年迎える卯年
月の世界も祝う春
めおと筑波嶺初日に光り
八郷盆地は明けの春
中戸 浅野草雄
「年頭に当り八郷小唄作家大久保潔舟柿の家先生を讀ふ」
「民謡」
○恋の瀬川の流れも深く受けて絵心唄心
「百寿会」
○齢重ねた百寿の会に元氣溢る、初笑い
伸びた愛の手 (第二報)
才末たすけあいに寄せられた青年会ととも会のうち、先月発表後に届けられた分は次のとおりです。
▽柿岡青年会(代表森一郎)のみなさん 二、二八〇円
▽柿岡下宿こども会 鎌田彰・木戸謙次さん外七十六名 一、五五五円
▽柿岡荒宿こども会 大枝正男さん外三十名 一、五四四円
▽柿岡研究所こども会 吉松順さん外二十名 五〇〇円
▽柿岡キリスト教会こども会 来栖富美子さん外一同 二、〇〇〇円